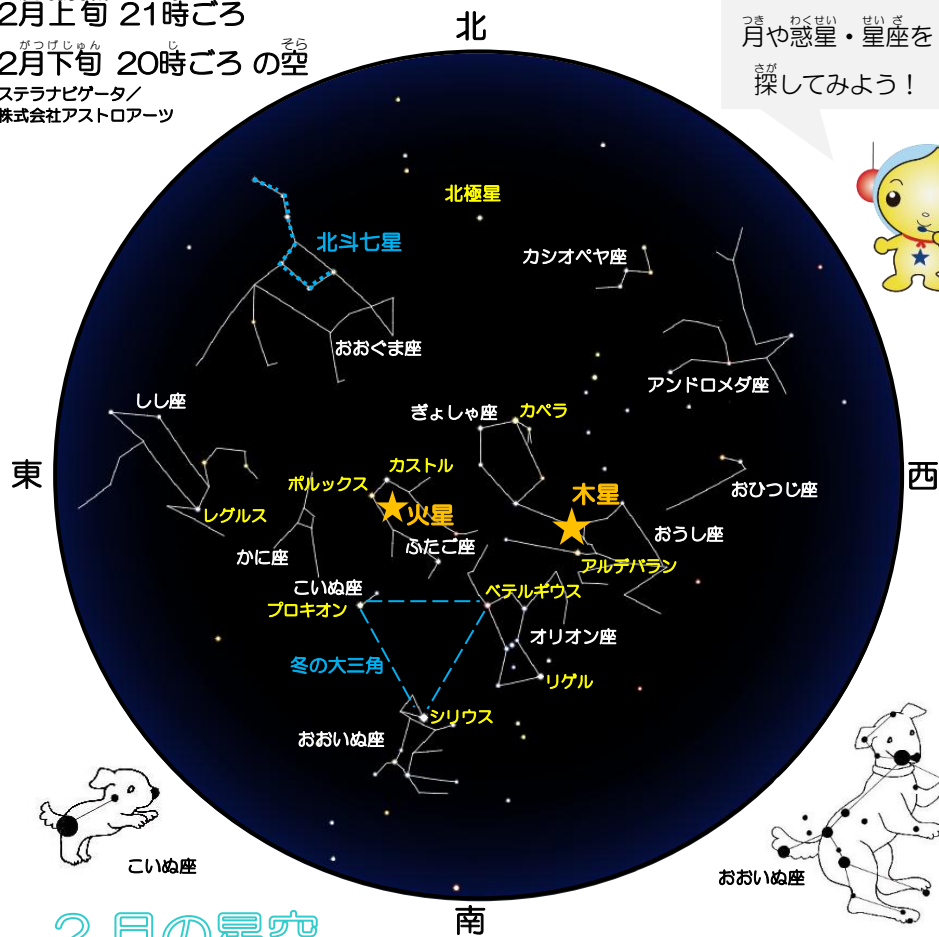


月刊 星空の散歩道 2月号

2025年

2月上旬 21時ごろ
2月下旬 20時ごろの空
ステラナビゲータ/
株式会社アストローツ



月や惑星・星座を
さがしてみよう！



2月の星空

☆星空の主な星座と明るい星☆

南と天頂の空に冬の星座が、東の空に春の星座が見える。

- < 西 > アンドロメダ座、おうし座 (アルデバラン)
- < 天頂 > ぎょしゃ座 (カペラ)、ふたご座 (カストル、ポルクス)
- < 南 > オリオン座 (ベテルギウス、リゲル)、おおいて座 (シリウス)、こいぬ座 (プロキオン)
- < 東 > しし座 (レグルス)
- < 北 > 北極星、カシオペア座、おおくま座

☆天文トピック☆

2月1～2日 月と金星が接近

日没後の西の空で細い月と金星が近づいて見えます。1日は月のすぐそばに土星も見えますが、高度が低いので双眼鏡で観察してみましょう。

2月6～7日 月と木星が接近

2月9～10日 月と火星が接近
月が木星・火星の近くに見えます。今年の冬は一等星の近くに木星・火星が見えているので、とても華やかな星空になっています。

☆月の形の変化☆

2月 5日	上弦	
2月 12日	満月	
2月 21日	下弦	
2月 28日	新月	

☆2月の惑星☆

金星	…日没後、西の空
木星	…日没後、南の空
火星	…日没後、東の空

<天文コラム> 探査機が持ち帰った小惑星のかけら

日本の小惑星探査機は、世界で初めて小惑星のかけらを地球に届けました。「はやぶさ」は2010年に小惑星「イトカワ」のサンプルを、後継の「はやぶさ2」は2020年に小惑星「リュウグウ」のサンプルを持ち帰りました。

小惑星とは太陽を公転する岩石でできた小さな天体です。太陽系が誕生した約46億年前に、惑星が形成される過程で残った物質から誕生したので、小惑星には太陽系が誕生した当時の情報が保持されていると考えられています。小惑星は100万個以上発見されていますが、探査目的や地球からの距離などの条件を満たしたことから、イトカワとリュウグウが目標天体として選ばれました。

イトカワは全体的に白っぽい色をしており、岩石質のS型小惑星に分類されます。リュウグウは黒色で、炭素を含む有機物や水を多く含むC型小惑星に分類されます。S型小惑星は地球が誕生した頃の太陽系を、C型小惑星は生命の起源を知ることができるかもしれないと考えられています。小惑星のサンプルは、たとえ少量であっても、その科学的意義は極めて大きいといえます。

伊丹市立こども文化科学館 発行日 2025年1月20日

〒664-0839 兵庫県伊丹市桑津3丁目1-36 TEL: (072) 784-1222

